

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価						目標① 目標②				
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数335社 ・巡回窓口指導延件数773件 ・課題解決提案件数17件 ・経営革新承認件数2件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 128.8 %)		指標	課題解決提案件数 (達成度 85.0 %)		課題解決提案件数は目標を若干下回ったものの、事務局全体による指導体制を確立したことにより、巡回窓口指導延件数は、目標を上回ることができた。計画の認定件数は、経営革新計画2件、経営力向上計画2件、先端設備導入計画3件。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今年度の実績を鑑み、巡回指導延件数については、目標を引き上げる。	○
				目標数値	600	実績数値	773	目標数値	20					実績数値	17	A	A	A		
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数45人 ・指導延日数324日 ・指導延回数740回	創業者（小規模事業者）	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0 %)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		小規模事業者の記帳能力の向上を図り、会員事業者が正しい知識を習得することで経営力強化について支援することができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	記帳指導職員と記帳指導員の2名体制で今年度と同様に取り組む。	
				目標数値	45	実績数値	45	目標数値						実績数値		A	A	A		
講習会開催事業	事業者を取り巻く経営環境、社会環境の変化に対応してもらうべく、新たな知識を習得する場を提供する。特に、施策情報の提供などを強化することで、事業者の新たな取り組みへの支援を強化する。	・講習会開催数及び受講予定者数 ・集団講習会 2回 8人 ・個別講習会 7回 135人	小規模事業者	指標	集団指導事業者数 (達成度 53.3 %)		指標	個別指導会参加者数 (達成度 96.4 %)		講習会事業を実施することにより、経営に関する知識と最新のトピックスを事業者に提供することができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	個別の講習会に關しては税務対策に關連した内容を中心に現行通り実施していく。集団の講習会に關してはコロナの影響を鑑みて今年度は廃止する。	
				目標数値	15	実績数値	8	目標数値	140					実績数値	135	B	A	新型コロナウイルスの影響により目標数値達成に至らなかった。		
雇用促進事業	若年者に対しては、自己の適正や就業経験等に關した職業選択並びに就職に關する知識や能力の向上を図る機会を提供する必要があることから、地元企業の紹介と各企業の人材確保をサポートするため、行政、商工会、商工会議所が主体となって開催する企業合同説明会を開催。イベントにあわせて若年者を対象に就職に關する個人相談会、就職支援セミナー、職業適性診断等の事業を実施し、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援することを目的とする。	・大口町、扶桑町合同就職フェア ※新型コロナウイルス感染の影響により中止 ・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）合同就職フェア ※新型コロナウイルス感染の影響により中止	若年求職者及び中小・小規模事業者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 - %)		指標	参加延事業者数 (達成度 - %)		新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めるようなセミナー自体を開催することができなかった。	総合評価	-	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症の影響が継続している現状を鑑み、本年度はリモートによる開催を計画している。リモートで事業を実施するにあたり、対応キャパシティなどを勘案して、参加者延人数及び参加延事業者数の目標数値を引き下げる。	○
				目標数値	200	実績数値	-	目標数値	60					実績数値	-	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響による中止のため評価なし。		
共同販売促進事業	事業者の集まりという利点を生かし、共同で事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、事業者の販売について面的な広がり支援する。	・プレミアム商品券事業 時期 売り出し 9/4~11/18 使用期間 10/1~1/31 参加事業者数 244社	会員企業（中小・小規模事業者）及び地域の消費者	指標	商品券参加事業者数 (達成度 97.6 %)		指標	参加延事業者数 (達成度 %)		今回はコロナの影響による消費の落ち込みの対策としてプレミアム率20%で事業を実施した。町内の大型店の方を借りながら中小店を面としてPRすることにより地域内における消費の循環・喚起を促すことができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度についてもコロナ対策としてプレミアム率を例年より上げて実施する予定。	
				目標数値	250	実績数値	244	目標数値						実績数値		B	A	A		
IT促進事業	情報通信技術を活用して、会員企業にとって有益な経営情報を発信したり、ビジネスチャンスが拡大し、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工会の活性化に寄与する。また、外部に対して商工会の活動内容を発信することで、商工会のPR活動につなげる。	・ホームページによる情報発信 内容 扶桑町商工会の会員情報やイベント等について情報発信 実績 ホームページアクセス数5,089件	会員企業（中小・小規模事業者）及びホームページ閲覧者	指標	ホームページアクセス数 (達成度 169.6 %)		指標	参加延事業者数 (達成度 %)		直接、商工会に足を運びにくい事業者に対して情報を発信することができた。試験的に運用しているFacebookなどのSNSとの相乗効果によりアクセス数が大幅に向上した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	Facebook以外にもLINE@の運用も開始することにより、ホームページへの流入を増やしていく。	
				目標数値	3000	実績数値	5089	目標数値						実績数値		A	A	A		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価						目標①		目標②	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性			目標①	目標②	目標①	目標②
産業団体指導事業	柏森発展会・扶桑発展会の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展の一助となる。ひいては扶桑町内の商業の活性化に資することを目的とする。	・発展会支援事業 内容 新型コロナウイルス感染症の影響により販売促進事業は中止。 柏森発展会員数66名 扶桑発展会員数92名	柏森発展会・扶桑発展会（中小・小規模事業者）	指標 柏森発展会会員数 (達成度 94.3 %)	70	実績数値 66	指標 扶桑発展会会員数 (達成度 91.0 %)	100	実績数値 91	新型コロナウイルス感染症の影響により販売促進事業が中止となったため、新型コロナウイルス感染症の対策を盛り込んだ事業の必要性を認知することができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	新型コロナウイルス感染症拡大の動向を見ながら翌年度事業の実施を検討していくため、本年度同様のスケジュールを見込む。	○		
税務関連団体指導事業	小牧青色申告会扶桑連絡協議会・小牧法人会扶桑支部の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、適切な納税を推進するとともに、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展の一助となる。	・税務関連団体支援事業 内容 9月に各団体が行う納税推進事業の支援。 小牧法人会扶桑支部会員数180名、青申会扶桑協議会会員数131名	小牧青色申告会扶桑連絡協議会・小牧法人会扶桑支部（中小・小規模事業者）	指標 小牧法人会扶桑支部会員数 (達成度 94.7 %)	190	実績数値 180	指標 青申会扶桑連絡協議会会員数 (達成度 93.6 %)	140	実績数値 131	9月に行われた小牧法人会扶桑支部の支援をとおして、納税に対する啓もう活動を行うことができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	各団体と協力し、納税推進事業を通じて啓もう活動に取り組む。			
創業支援事業	新規創業者は、創業に伴う、知識・経験などが不足しているようなケースも多くみられる。そのような創業者の創業計画の策定支援や資金計画支援などの事業の立ち上げに伴う支援はもとより、創業後、事業が軌道に乗るまでに廃業してしまう状況があることを踏まえて、創業者に寄り添った形でバックアップできるような支援体制を整えていく。	・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）創業支援セミナー 時期 中止 ・創業ハンズオン支援 時期 随時 場所 商工会窓口および事業所 創業相談件数10件、内、5件の創業を目標	小規模事業者	指標 創業支援実績 (達成度 83.3 %)	6	実績数値 5	指標 創業セミナー参加者数 (達成度 - %)	15	実績数値 -	創業支援セミナーについては、令和3年1月23日に江南市にて開催予定であったが、コロナの影響により「緊急事態宣言」下であったため中止となった。創業ハンズオン支援については、地域の創業予定者に対して基本的な経営に関する知識を提供するとともに、創業後のフォローアップを行うことで継続的な支援をすることができた。	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 B 目標達成度 -	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	創業セミナー、創業ハンズオン支援ともに本年度と同様の目標を維持する。取り組み方法についても現行通りとする。	○		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康維持増進事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済促進事業 内容 各種共済加入者 218名 内容 経営者、従業員及びその家族の健康維持増進のため歩け歩け大会 時期 中止	会員企業（中小・小規模事業者）の事業主及び従業員	指標 各種共済加入者延人数 (達成度 60.6 %)	360	実績数値 218	指標 歩け歩け大会参加者数 (達成度 - %)	65	実績数値 -	共済加入者については事業者の不測の事態に備えた補償を提供する役割を担った。歩け歩け大会については本年度中止。	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 B 目標達成度 -	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	各種共済については必要性が高いため、現行通りの目標設定で来年度も取り組む。歩け歩け大会については新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止			
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険事務代行事業 内容 労働保険料の申告納付の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。 代行 労働保険事務組合委託事業所25企業	労働保険事務組合員（中小・小規模事業者）	指標 事務組合委託事業者数 (達成度 100.0 %)	25	実績数値 25	指標 (達成度 %)		実績数値 -	労働行政と協力を図りながら、事務組合員の福利厚生の一環としての労災保険、雇用保険の事務を代行することにより社会保険事務の適正化と普及に寄与しつつ労働環境の整備ができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標数値・実施方法ともに現行通りを行う。			
地域産業祭事業	扶桑町主催ふそう町民まつり事業に伴い商工会員事業所による商品即売会と地場特産品の販売及び地元製造事業者による工業製品の展示会等を実施し商工業の振興と地元町民の心のふれあいを深め地域活性化に寄与することを目的とする。	・ふそう町民祭り参画事業 時期 中止	会員企業（中小・小規模事業者）及び地域住民	指標 参加事業者数 (達成度 - %)	22	実績数値 -	指標 (達成度 %)		実績数値 -	令和2年10月24日に開催予定であったが、コロナの影響により中止となった。	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 満足度 - 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	次年度も目標数値・実施方法については現行通りであるが、地域住民と事業者の交流の場としての役割を維持しながら参加企業の募集に努める。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標①
青年・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部事業 内容 視察研修をはじめ、ご当地商品の開発、地域イベントへの参加 青年部部員数16名 ・女性部事業 内容 視察研修をはじめ、セミナーの開催、地域イベントへの参加 女性部部員数42名	青年部員及び女性部員（中小・小規模事業者）	指標 青年部員数 (達成度 64.0 %)	指標 女性部員数 (達成度 93.3 %)	地域での青年部・女性部間のネットワークを構築し、同じ団体の一員であるという一体感を醸成するとともにイベントを行うときの団結力を形成する。また、地域イベントに出展することで活動のPRにもつながった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 B	満足度 補足	目標① 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	事業後継者や共同経営者としての資質向上を図るために研修活動や地域貢献を中心とした活動を実施していく。女性部については、コロナ禍において十分に進めなかった「おもてなし交流事業」を継続していく。	一部○		
セミナー事業（一部国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもとづき、金融機関と合同によるセミナー事業を実施する。事業計画策定につなげる刺激策を充実させることにより、経営計画の策定事業者のバイを増やしていく。	・セミナー事業 内容 「販路開拓支援」「経営革新支援」などのテーマのセミナーを開催する ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	中小・小規模事業者	指標 参加者延人数 (達成度 - %)	指標 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めるようなセミナー自体を開催することができなかった。	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 -	調査結果 事業者への 満足度 - 必要性 A	満足度 補足	目標① 実施方法①	目標② 実施方法②	新型コロナウイルス感染症の影響が継続している現状を鑑み、本年度はリモートによる開催を計画している。リモートで事業を実施するにあたり、対応キャパシティなどを勘案して、参加者延人数の目標数値は引き下げる。	○		
女性向実践型創業セミナー事業（国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもとづき、創業者に必要な知識の提供から実際の運営までをサポートする。1ヵ月程度座学のセミナーを実施したら、その後、イオンモール扶桑において創業実習を行う。	・女性向実践型創業セミナー 時期 セミナー（全4回） 8/4~8/25 毎週火曜日 チャレンジショップ 12/3、4（全2日） 場所 セミナー：扶桑町商工会館 チャレンジショップ：イオンモール扶桑 セミナー参加者：2名 チャレンジショップ参加者：	女性創業者・創業希望者（小規模事業者）	指標 参加者人数 (達成度 20.0 %)	指標 (達成度 %)	コロナの影響により、創業セミナーについては参加者数・セミナー回数ともに予定より減少してしまったが、地域内における女性創業者に対して創業のためのインキュベーション機能としての役割を果たすことができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 実施方法①	目標② 実施方法②	次年度もセミナー、チャレンジショップとも現行通り実施する予定である。	○		
展示会出展事業（一部国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもとづき、扶桑町内における製造業を中心に技術力や商品力のPRの機会として展示会への出展を行うことで、販路の拡大を支援する。	・展示会出展事業 内容 メッセナゴヤ2020への出展 時期 令和2年11月16日~12月11日 参加企業数 4社 ※メッセナゴヤ自体が当初のリアルでの実施からオンラインでの実施に変更された。	中小・小規模事業者	指標 参加企業数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	リアルからオンラインへの切り替わりもあり、当初予定していたようなビジネス面における効果はあまり得られなかった。一方、今後は、主流となるオンラインでの展示会に対応するための基礎的な知識や経験を得ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 実施方法①	目標② 実施方法②	来年度はメッセナゴヤ実行委員会が説明するようにリアルとオンラインのハイブリット型での実施となる予定であるため、今年度のオンラインでの経験を活かして臨む。	○		
若手後継者等育成事業	地域の小規模事業者において、事業の継続・発展には次期経営者となる若手後継者の資質向上が必要不可欠である。本年度は、青年部員を中心とした若手経営者・後継者の資質向上を図るテーマのセミナーを5日間開催する。	・青年部資質向上セミナー 日程・参加者数 第1回IT 7/7（火） 6名 第2回労務 8/27（木） 6名 第3回労務 10/27（火） 7名 参加者延人数19名	若手後継者（中小・小規模事業者）	指標 セミナー参加者延人数 (達成度 38.0 %)	指標 セミナー参加満足者延人数 (達成度 45.0 %)	コロナの影響により、参加者数・セミナー回数ともに予定より減少してしまったが、今後、事業を引き継いで各々の企業の経営力を高めていくべき事業後継者の資質向上の機会として役に立った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 実施方法①	目標② 実施方法②	次年度も青年部員の資質向上を図るべくトレンドを掴んだセミナーを現行通り実施する予定である。	○		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。